

## 2. 基本的態度のチェックリスト

カウンセリングにおけるカウンセラーの基本的態度は、実際の場面において、生きて働かなければ意味がない。そのためには、以下のようなチェックリストにより評価し、反省してみるのがよいであろう。

○印：よい    ×印：よくない

### (1) 自己一致の調査 (子供に質問して、教師の態度をきく)

- 先生は、私が本当のことをききたいと思っている時は、言ってくれる。
- 先生は、自分の気持ちがどんな時でも、私に接する態度が変わらない。
- 先生の話は、信頼できる。
- 先生は、自分の気持ちをごまかさなで、話をしてくれる。
- 先生は、私に正直に話をしてくれる。
- 先生は、無理に我慢して私の話をきいているだけだ。
- 先生は、私の話を大げさだと受けとっている。
- 先生は、私に好意をもっているようなふりをしている。
- 先生は、私にかまわず、自分の感情を出しすぎる。
- 先生は、私に対して色めがねを通して見ている。

### (2) 受容の調査

- 私は、子供にいつも暖かく接している。
- 私は、子供の気持ちがどうあろうと、態度に変わりはない。
- 私は、子供を他人と比較して見ていない。
- 私は、子供を信ずることができる。
- 私は、子供の問題を本当に考えている。
- 私は、子供を自分の考えどおりにしようと思っている。
- 私は、子供を軽べつしているようだ。